

33 号



2017

4 月

卯月



伯耆大山 北壁

目次

CONTENTS

■ 山行予定	3
■ 山行案内	
・ 寂地・吉和冠	4
・ 女亀山	4
・ 大万木で森林浴	5
・ 御境～大神ヶ岳県境稜線	5
・ 旧羅漢山～恐羅漢山	6
・ 天城山&丹沢山&両神山	6
・ 岩山講座	7
・ 鳳凰三山	8
◎ 三倉岳クライミング交流会	9
◎ 県労山 第6回安全登山講習会	10
■ 活動報告	
・ 広島南アルプス縦走	11
・ 安蔵寺山	13
・ 高岳県境稜線	14
・ 大山北壁 別山バットレス中央稜	16
・ 泉水峠～大峰山～湯来温泉	17
● バリエーション通信	19
● 2016年 第12回 運営委員会議事録	20
● 佐伯山の会 第37回定期総会	21

山行予定

<詳しくは今月号の「山行案内」をご覧ください>

2017-2018 ハイキング・バリエーション山行 予定表									
4月					5月				
	ハイキング	CL	バリエーション	CL		ハイキング	CL	バリエーション	CL
1					1				
2	宮島				2				
3					3			白馬主稜	
4			三倉		4			白馬主稜	
5					5			白馬主稜	
6			窓が山		6			白馬主稜	
7					7	女亀山		白馬主稜	
8					8				
9			天応		9				
10					10				
11					11				
12			天応		12				
13					13	地域研究②			
14					14	大万木山			
15	白木山				15				
16			未定		16				
17					17				
18			三倉		18				
19					19				
20					20			クライミング交流	
21					21	旧羅漢山		クライミング交流	
22			三倉		22				
23	地域研究①				23				
24			窓が山		24				
25			三倉		25	天城・丹沢・両神			
26					26	天城・丹沢・両神			
27					27	天城・丹沢・両神		岩山講座	
28					28	天城・丹沢・両神			
29					29				
30					30				
					31				

「まど」編集部で把握している山行のみ掲載しています。
自主山行・平日★ハイキング山行は掲載していません。

[▲目次へ](#)

山行案内

4月 山域研究 その①

寂地・吉和冠 スタンダードバリエーション

- 【期 日】 4月23日(日) 【山 域】 吉和冠・寂地
 【集合場所】 JR宮内串戸駅 【集合時間】 7時半
 【交通手段】 自家用車相乗り 【参加費用】 交通費分担
 【行程】 宮内串戸(7:30)ー松の木峠(9:00)ー寂地山…額々山…ヒロコウ谷…広高山…ボーギのキビレ…ホン谷…東大沼ヶ原…冠寂地分岐(15:00)…松の木峠(16:00)…宮内串戸(17:30)
 【装 備】 藪漕ぎにはならないと思いますがそれなりの服装、ヘッドライト、コンパス、昼食・非常食、雨具、地図、雨具、防寒具、水、残雪時の対応(ロングスパッツ等)
 【地 図】 1/25,000 【リーダー】
 【申 込 先】
 【申込期限】 4月17日まで

【山行の呼びかけ】 2016年度の山域研究は、昨年に引き続き寂地・吉和冠など西中国山地の山の中(県境、境界踏破等)を歩きます。今回その①は、寂地・吉和冠周辺の広高山・額々山を歩きます。カタクリやショウジョバカマ、野鳥にも会えるでしょう。山菜もそろそろ楽しめます。残雪によってはルート変更します。芽吹き始めた西中国山地の春を感じたいと思います。

5月ハイキング例会山行

女亀山(830・3M)

- 【期 日】 5月7日(日) 【山 域】 島根県飯南町
 【集合場所】 JR宮内串戸駅 【集合時間】 7時30分
 【交通手段】 自家用車 【参加費用】 会規定による
 【行 程】 宮内串戸駅(7:30)ー岡三淵集落(10:00)ー新規就農者宿泊施設(10:20)ー登山口(10:40)ー旧庄屋屋敷ー林道分岐(11:10)ー登山道分岐女亀山神社鳥居(11:15)ー鞍部(11:40)ー支尾根(12:00)ー尾根同合流ー女亀山山頂(12:10-昼食-13:30)ー尾根分岐ー林道合流女亀山神社鳥居(14:00)就農者研修施設PK(15:00)ー宮内串戸駅(17:30)
 【装 備】 ハイキングに適した服装、昼食、非常食、雨具、地図、コンパス、ヘッドランプ
 【地 図】 三次飯南町 【リーダー】
 【申込先】 【申込期限】 4月30日

【山の呼びかけ】 山としては高くないが野鳥の多い、ブナ原生林が残っており一等三角点のある山です。ブナ林を満喫してはいかがですか。芸藩通志には女亀山頂上に池があり神亀がすんでいた。農民が集まり雨乞いをしたといわれている山です

[▲目次へ](#)

5月例会山行

大万木で森林浴 (サンカヨウ)

- 【期 日】 5月14日(日) 【山 域】 大万木
 【集合場所】 JR宮内串戸駅 【集合時間】 7時半
 【交通手段】 自家用車相乗り 【参加費用】 交通費分担
 【行 程】 宮内串戸(7:30)ー門坂登山口(9:30)…<滝見ルート>…大万木山頂(12:00)…
 [昼](13:00)…<渓谷ルート>…門坂登山口(14:30)ー[頼原ラムネ温泉]ー宮内串戸(17:00)
 【装 備】 昼食、非常食、地図、雨具、防寒具、水、ヘッドライト、コンパス、(風呂セット)
 【地 図】 1/25,000 【リーダー】
 【申 込 先】
 【申込期限】 5月7日まで
 【山行の呼びかけ】 サンカヨウ、ヤマシャクヤクの花が咲き、イカルやアカショウビン等の野鳥
 がさえずる大万木山。2年前山頂の小屋に泊まった翌朝、森の妖精を見たような幻覚を感じ
 ました。5月の新緑の中、まったりと大万木のブナの森を歩き、森林浴をして癒されましょ
 う。

5月例会山行 地域研究 ②

御境～大神ヶ岳県境稜線

- 【期 日】 5月13日(土) 【山 域】 西中国山地
 【集合場所】 JR宮内串戸駅 【集合時間】 7時50分
 【交通手段】 自家用車 【参加費用】 車代
 【行 程】 宮内串戸駅(8:00)→中津谷川(9:00)→御境登山口<車回送>(9:30-10:15)→クワノ
 キ山 1121m(10:45)→1059mピーク(11:15)→県境稜線分岐(11:45)→1126mピーク [昼食]
 (12:15=13:00)→大神ヶ岳 1177m(13:30)→大神ヶ岳登山口<車回送>(14:20-15:00) →
 中津谷川(15:30)→宮内串戸駅(16:30)
 【装 備】 ハイキングに適した服装、手袋、昼食、非常
 食、雨具、コンパス、地図、ヘッドランプ
 【地 図】 1/25,000(野入)
 【リーダー】
 【申 込 先】
 【申込期限】 5月7日まで
 【山行の呼びかけ】 今回のコースは吉和から匹見に行く道の
 県境「御境」より大神ヶ岳にかけての県境稜線を歩き
 ます。普段余り行くことが少ないコースです。



5月ハイキング定例

旧羅漢山 (334m) ~ 恐羅漢山 (346m)

- 【期 日】 5月21日(日) 【山 域】 西中国山地
 【集合場所】 JR宮内串戸駅 【集合時間】 7時25分
 【交通手段】 自家用車 【参加費用】 会規定による
 【行 程】 宮内串戸駅(7:30)→広見山登山口(9:00)→ハゲノ林道分岐(10:15)→三本栃(10:55)
 →カマのキビレ(11:50)→旧羅漢山《昼食》(12:30~13:20)→恐羅漢山(13:50)→牛小屋高
 原(14:40)→戸河内道の駅(15:40)→宮内串戸駅(16:30)
 【装 備】 ハイキングに適した服装、昼食・非常食、雨具、地図、コンパス、ヘッドランプ
 【地 図】 メールでルートを入れて送付します 【リーダー】
 【申 込 先】
 【申込期限】 5月14日(日)まで
 【山行の呼びかけ】 広見山登山口より登り、途中三本栃を經由して巨大な猿の腰掛を見たいと思
 います。車が2台になれば交差縦走も考えてみたいと思います。途中巨大な猿の腰掛が見ら
 れるかも。

5月例会山行

天城山&丹沢山&両神山

- 【期 日】 5月25日(水)~5月30日(火) 【山 域】 伊豆半島・丹沢山地・奥秩父
 【集合場所】 JR 広島駅新幹線ホーム3号車 【集合時間】 7時30分
 【交通手段】 JR 新幹線他 【参加費用】 100,000円程度
 【行 程】
 5月25日(木) 広島駅(7:46)→三島駅(13:21)→修善寺駅(13:40)→修善寺観光(14:06)
 →さかえ荘(17:00)
 5月26日(金) さかえ荘(7:00)→天城峠(8:45)→八丁池(10:55)→万三郎岳(13:50)→万二郎
 岳(14:55)→天城高原ゴルフ場(15:10)→かめや楽寛(16:20)
 5月27日(土) かめや楽寛(6:50)→大倉(9:00)~堀山の家(10:50)~花立(11:15)~塔ノ
 岳(昼食)(12:05=12:35)~尊仏山荘(13:00)~丹沢山(14:10)~みやま山荘(14:20)
 5月28日(日) みやま山荘(5:00)~蛭ガ岳(7:00)~焼山(10:10)~焼山登山口(昼
 食)(11:40=12:10)→橋本駅(14:03)→西部秩父駅(16:10)→国民宿舎両神荘(17:30)
 5月29日(月) 両神荘(6:30)→出原上(7:10)~両神神社本社(10:30)~両神山(11:00)~一
 位ガタワ(昼食)(11:45=12:15)~白井差口(14:05)(14:20)~三峰口(15:38)駅→さと
 じ(16:00)
 5月30日(火) 民宿旅館さとじ(7:30)→三峰口駅(7:56)→熊谷駅(9:25)(9:32)→東
 京駅(10:46)(11:03)→岡山駅(15:12)(15:46)→広島駅(16:26)(16:35)→
 宮内串戸(16:56)

*注意 コースタイムはエリアマップによるもので、休憩時間等を入れると2割程度は増えるものと思われる。また、コースは部分的(天城山と丹沢山のみの参加)な参加も認めます。

【装 備】ハイキングに適した服装、行動食、非常食、

【地 図】山と高原地図「伊豆天城山」「丹沢」「雲取山・両神山」

【リーダー】

【申 込 先】

【申込期限】 **4月30日**

【山行の呼びかけ】 今回のコースは、日本百名山で伊豆半島の美しい原生林に覆われた伊豆の尾根を歩く天城山、神奈川丹沢山地の四季を通じて楽しめる変化に富んだ山陵丹沢山並びに埼玉県の岩稜の山両神山に登ります。

教育部山行案内

岩山講座

安全クライミング実践講座)

【期 日】5月27日(土曜日)

【場 所】天応烏帽子岩山

【集合場所】JR天応駅

【集合時間】9:20

(参考: JR 宮内串戸8:07 廿日市8:09 五日市8:13 横川8:26 広島8:39 天応9:16)

【行動予定】天応駅9:20→アイゼン尾根(岩尾根歩き)→ナメラ基部(クライミング基礎講座)
15:00頃終了予定 → 天応駅解散

【装 備】日帰りハイキング装備 雨具、昼食、飲料水、クライミング装備一式(ヘルメット、ハーネス、クライミングシューズ、スリング、カラビナ)持っていない方、新規購入を検討の方はご相談ください。

【予定講師】安達会長、岩トレメンバー

【申込み先】

【申込み期限】 **5月20日**

【山行の呼びかけ】 岩登り、岩尾根歩きを体験してみたいあなた、やっているけどこれでいいの? と不安なあなた、安全なクライミングに欠かせないロープワーク、岩尾根歩きの基本ムーブを再確認できるチャンスです。今回はグレードを追及するのではなく、「安全」をキーワードにした技術や手順を学びましょう!! ハイキング志向の方もぜひ体験しておきましょう!!



7月例会山行

鳳凰三山

(2017 広島県連フリー登山バス)

- 【期 日】 7月27日(木)～31日(月) 【山 域】 南アルプス
 【集合場所】 JR広島駅新幹線口前 【集合時間】 7時10分
 【交通手段】 2017広島県連フリー登山バス 【参加費用】 50,000円程度
 【行 程】

7月27日(木) JR広島駅新幹線口前→間所IC→山陽道→名神→中央→葦崎IC→芦安温泉(宿)

7月28日(金) 芦安温泉→夜叉神峠登山口～杖立峠～苺平～南御室小屋(宿)

7月29日(土) 南御室小屋(宿)～薬師岳～観音岳～地藏岳～鳳凰小屋(宿)～青木鉱泉(昼食)
 ～青木鉱泉

7月30日(日) 鳳凰小屋(宿)～青木鉱泉→タクシー→葦崎市内(入浴・食事後乗車)→葦崎
 IC→中央→

7月31日(月) 名神→山陽道→間所IC→JR広島駅

【地 図】 山と高原地図「甲斐駒・北岳」 【リーダー】

【申込期限】 **4月30日**

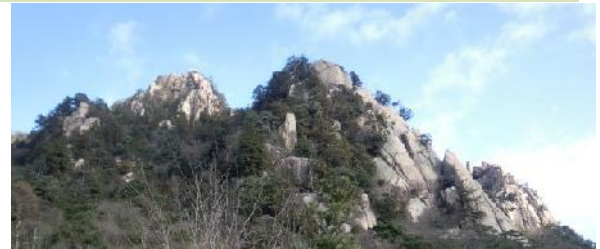
【山行の呼びかけ】 今回のコースは、芦安温泉→夜叉神峠登山口～南御室小屋～薬師岳～観音岳～地藏岳～鳳凰山～青木鉱泉→葦崎市内と日程的に無理の無い、南アルプスの入門コースで抜群の展望を楽しめる鳳凰三山を歩きます。また、2017 広島県連フリー登山バスを利用しますので格安で行けます。



三倉岳クライミング交流会を実施します！

広島県連内のクライミング志向者の老若男女相互間の縦横断的な交流を行い、技術向上とクライミング山行の活性化ができればいいなと思っています。各会から多数のご参加をお願いします。

佐伯山の会山行部 (バリエーション部門)



日程]

■ 5月20日 (土)

- ・ 8:30 三倉平駐車場集合！ テント設営
- ・ 9:00 テントサイト申込み → 各クライミングエリアへ移動
- ・ 15:30～16:00頃 テントサイトへ下山
(入浴など自由行動)
- ・ 18:30 懇親会 (食事やお酒、おつまみは各自持参) ※直火禁止

■ 5月2日 (日)

- ・ 8:30 朝食後テント撤収
- ・ 9:00 各クライミングエリアへ移動など
- ・ 13:00 クライミングエリアにて解散またはクライミング続行 (各会にて判断)

山 域] 三倉岳 ※クライミングエリアは自由

目 的] クライミング志向の各会会員の相互交流をおこない、クライミングの技術向上とクライミング山行の活性化を目指します。

装 備] 個人装備: クライミング装備一式、幕営必要装備、入浴装備、食料、飲料水 (水道の生水は飲めません) お酒、おつまみ等

共同装備: 各会にてテント等必要装備をご準備ください。

申込・連絡先] 各会で参加者を別紙により取りまとめ、5月13日 (土) までに

そ の 他]

- ・ 現地への集合は、できるだけ乗り合わせて来てください。
- ・ 入浴に関する情報

<小瀬川温泉> <http://www.view-up.jp/sahoku/member/ozegawa/>

入湯料ほか 11:00～20:00 (受付 19:30 迄) 大人 430 円
広島県廿日市市栗栖 115 TEL 0829-72-1311

<道の駅スパ羅漢> <https://www.sparakan.com/>

入浴料ほか 10:00～20:00 (受付 19:30 迄) 大人 600 円
広島県廿日市市飯山 21-5 TEL 0829-72-2221

- ・ コンビニ情報など

<セブンイレブン> <https://goo.gl/maps/9LGXDfbPcUs>

<マックスバリュ> <https://goo.gl/maps/W7n766Tyei62>

広島県勤労者山岳連盟第6回安全登山講習会



遭難事故の多くが、少なからず気象の影響を受けているといわれます。これを防ぐために、《雲を知る》《高層天気図を読む》の基本を学び、遭難事故を防ぐ能力を身に付けましょう！

- ・日時：2017年6月24日(土)
午前10:00～午後3:30
- ・会場：広島西区民文化センター大会議室A
- ・講師：川邊 昭治 さん
(気象予報士・元大阪管区気象台予報官・右京労山会員)

講演内容：第1部 観天望気の基本《雲を知る》
第2部 高層天気図①実況天気図を中心に
②予想天気図を読む
※実習を含みます。
第3部 事故を起こさないために
各種情報の利用・活用の仕方

- ・定員：80名 参加費：無料《資料代は実費》

主催：広島県勤労者山岳連盟

山行報告

3月ハイキング定例

広島南アルプス縦走

《カガラ山～鈴ヶ峰山》

【日時】2017年3月4日（土）快晴

【参加者】

【コースタイム】武田山登山口(8:02)…カガラ山《212m》(8:34～39)…ツツジの丘(8:44)…展望広場(9:06)…武田山（銀山城跡）《410.9m》(9:23～9:33)…火山《488.0m》(10:30)…伴峠(10:54)…権現峠(11:06)…大塚峠(11:36)…丸山(457.4m)(11:51)…大茶臼山《413m》(12:34～13:22)…己斐峠(13:43)…抽本城山山頂（三等三角点）《339m》(14:46)…鬼ヶ城山登山口(15:18)…鬼ヶ城山山頂《268m》(15:57)…道行地蔵(16:24)…鈴ヶ峰《312m》(16:36)…JR新井ノ口駅(17:24)

【山行記録】

JR大町駅を7時50分出発。武田山登山口の階段を登り落ち葉を敷き詰めた登山道を進む。道標のしっかりした雑木の林立する道をたどり、カガラ山分岐に。3分ほどで「カガラ山(212m)」に到着。

ここからの眺めは絶景で、絵下山、呉婆々宇山等々の山並み、眼下は毘沙門台団地が展望できる。南西方向にはこれから目指す「武田山」と

「火山」が行く手を阻むように鎮座する。うっそうとした林の中をツツジの丘、吹き通しを経て「武田山(411m)」に到着。(ここで藤井、仲、他1名と合流)



ここは安芸国の守護職、武田氏の居城であった「銀山城跡」であり、付近には館跡、見張り台、弓場跡等が散在し歴史のロマンを感じる。

次は火山。水越峠から尾根道を登り 353 峰に。ここから茶臼山のアンテナ群が遠望できる。東亜ハイツ・東山本登山口合流点を過ぎると今回の最高峰「火山（488m）」に到着。神武天皇ののろし台の伝説がありこの名が付いたとか。次は丸山に向かう。近くにお堂がある権現峠を経て大岩を登り 424m ピークの



鉄塔をくぐり大塚峠付近でマンサクの花が 3 輪春を呼んでいた。

二等三角点のある「丸山（457.4m）」に到着。記憶では反射板があったが今はない。次は大茶臼山。見晴らしのきかない尾根道を進み、三滝分岐、鉄塔を通過して畑峠へ。ここからアンテナの乱立する大茶臼山へ登り返す。《己斐峠から大茶臼山の登山道は県道建設工事の為 5 月より通行できません。代替ルートは確保されていない旨の表示看板あり》 大茶臼山を少し下った岩場でちょっと遅い昼食タイム。ここから一気に下って己斐峠へ。県道 265 号線を西に進み、柚木城山標識から山道に入る。登り始めは真砂土のむき出した谷筋を登り三等三角点のある「柚木城山（340m）」に到



着。315m 地点で鉄塔道から草津沼田道路に降りることを試みるが、藪ってすでに道はなく地図にはないがしっかりした道をたどり草津沼田道路に着く。道路をまたぎ「鬼ヶ城山」へ向かう。取り付は美しい竹林の道を緩やかに進み山田団地の分岐を通過して「鬼ヶ城山（282m）」に着く。足元には整然と並ぶ美鈴が丘の団地、己斐の街並みと人間の営みが一望できる。しばらく下ると峠に差し掛かり道行地蔵が祭られている。ここからの登りが疲れた体にはことのほか堪える。最後のピーク「鈴ヶ峰（312m）」に 16 時 36 分到着。

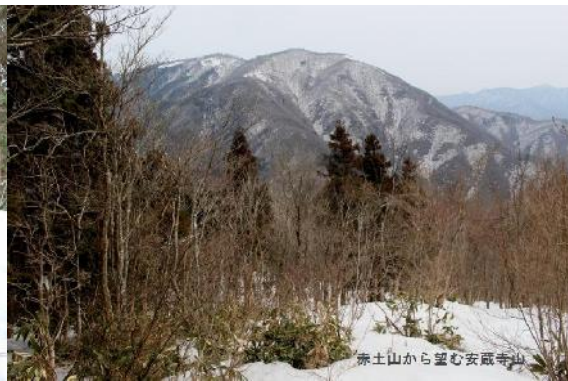


休む間もなく一気に JR 新井口駅にむかう。10 名で出発した鈴ヶ嶺には 7 名がたどり着いた。経過時間：9 時間 35 分、歩行距離：21.6 km のロングトレイルでした。今回のルートは何年か前、佐伯山の会の今は退会されている諸先輩達とルートを区切って幾度と歩いたこの山を。あの日あの時あの友と。過去への帰りの旅のようでした。この年になって全てを一気に走破。過去の点と点が線になりちょっとハードな思い出遺産が完成した山歩きとなりました。

【期 日】 3月20日（月） 春分の日

【参加者】

【コースタイム】 駐車場 9:44…9:48 滑峠登山口…10:39 標高 903m 独標 10:42…11:22 香仙原 (1,55.9m) 11:29…12:09 赤土山 (1,077m) 12:14…12:17(昼食) 12:55…13:22 香仙原 (1,055.9m) 13:29…14:31 滑峠登山口…14:35 駐車場



島根県吉賀町と津和野町の町境にある滑峠（ぬめっとう）から香仙原を経由し残雪の尾根を安蔵寺山に縦走して、安蔵寺トンネル口に下山する計画であった。しかし吉賀町木部谷温泉から峠へのアプローチの林道途中で想定外の工事通行止めに遭い、津和野町左鐙（さぶみ）への迂回を強いられて登山口への到着が遅延することとなり、また林道安蔵寺山線の雪溜まりにまだ大量の残雪があることも懸念されたため、縦走を断念し、滑峠から午後12時半頃までに行けるところまでのピストンということになった。

当初計画より小一時間遅れて滑峠から入山した。峠は雪だまりとなっていたが、取り付いた香仙原に続く尾根筋には雪はなかった。標高611mの登山口から香仙原山頂まではかなりのアルバイトとなるのが危惧される標高差440m余という高度差であった。それでも杉や桧が植えられた尾根筋は、幸いなことに地形図でも等高線が粗く、長丁場とはなるものの、喘ぎながら登るなどという斜度ではなかった。登り始めて1時間足らずの標高900mほどの辺りで雪が現れて、登る程にその量が多くなっていった。山頂間近の急傾斜面で数名がワカンを装着した。

香仙原山頂は少しばかり切り開かれた高原状の平らかなところであった。冬枯れの樹林越しに安蔵寺山や周囲の峰々を望むことが出来た。稜線上は3月のこの時期にしては豊かな残雪に恵まれており、春山の醍醐味を感じ



滑峠登山口



雪の現れた尾根を登り行く



残雪の稜線歩きを楽しむ

ながら更に先に進むことになった。一旦鞍部に下り登り返すとこの日の最高点の赤土山であった。ここからは正面に残雪を被った安蔵寺山を望むことが出来た。この山行中随一の眺望であった。もう正午を回っており、この

日はここまでということにして、少し香仙原に寄った風の当らない稜線上で昼食を摂ってから往路をそのまま引き返した。長い下り尾根を辿りながら、安蔵寺山までの縦走に再挑戦することを誓った。

[▲目次へ](#)

バリエーション例会山行

地域研究⑨

高岳県境稜線 積雪期)

【期 日】 3月12日(日) 晴れ 【参加者】

【コースタイム】 虫送峠 9:50…10:50 (Peak 911)…11:50 ナカ谷分岐…13:05 (Peak 961)…13:40 高岳 14:40…15:40 (Peak 893)…16:10 下山



今年度締めくくりの山域研究、西中国山地県境山行2台の車で191号線島根県境
 (八幡ハイランドスキー場前) 国道路端に車を止め一台は下山口近く正直村前に回送後
 県境道路看板の下よりワカン装着出発

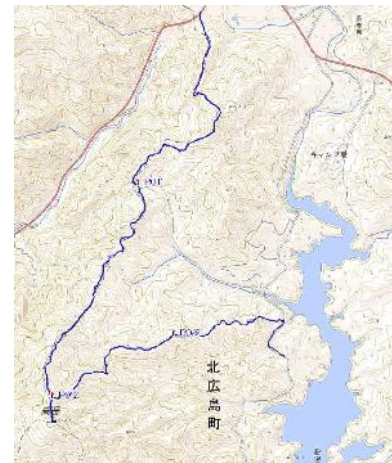


残雪 サクサクと雪に踏み込む音が心地よい、麓ではザラメ状の雪、登るにつれ
 新雪の下は締まって歩きやすい場所又重い雪に足を取られる場所、急登場所では膝下までのラッセルに強いられる、南斜面では雪解けも足早か、今シーズン最後のスノーハイクか? 十分楽しむことができた。

春の兆し 山にも春の兆し、木々には暖かくなるのを待つ小さな冬芽、
 オオカメの木にはウサギの顔をした新芽が可愛い、
 木々の根元には春の訪れを感じる根回り雪(根開き)の雪解け
 着こんでたウェアもTシャツ一枚の身軽さ

ルート 虫送峠から高岳へは、はっきりした尾根は少なく、いくつもの小さなピークのアップダウンを繰り返しながら尾根分岐を右に左に方向を変えながら進みます。

其の為地図読みの力が試されます。ナカ谷分岐過ぎては古い赤テープが目につきます。高岳頂上手前P961への上りはジグを切りながらの心臓破りの急登である。又下山ルートも私には地図とコンパスだけでは読み



取れない地形、まず迷うだろう、GPS頼りの下山、積雪期、ヤブ漕ぎはなく歩きやすかったが夏場はどうだろうか?

天気 晴天、無風。初夏の暖かさ、
 終始、目の前の臥竜山、掛頭山、深入山、北には大佐山から続く県境稜線の眺望を楽しみながら眼下には氷結した聖湖、いつまでも見飽きない眺め、我々だけの真っ白い頂上春の日差しを背中に浴びいつまでも留まりたい時間でした。

今年は本当に雪山登山、スノーハイクと楽しむことができました。

[▲目次へ](#)

ヴァリエーション定例 大山北壁 別山バットレス中央稜

【期 日】 3月4日 (土)

【参加者】

【コース・タイム】 3 / 4 大山寺駐車場(6:15)→元谷大堰堤(7:00)→別山バットレス中央稜基部(8:20)→夏道登山道合流地点(12:50)＝休憩・補給＝六合目避難小屋(14:00)→六合沢→元谷大堰堤(14:25)→駐車場(15:00)

先週と同じく午後9時に小形さんの車にピックアップされ、順次土屋さん、安達さんと同乗して宮島SAを通過。先週よりずっと寒さは緩い。順調に大山寺手前の無料駐車場に停車して、前回は雨で使用しなかったテントを手早く張り、脚を伸ばしての4時間の仮眠だった。

大山寺第一駐車場から出発時に夜明け前の空は広い星空。予報通りの好天だ。積雪の量も変わっていない。快調に脚を伸ばして元谷大堰堤にでて小屋には向かわずその場でアイゼン、登攀装備を身にまとった。別山取り付きまでトレースを追う。左の谷には弥山尾根を目指す12名くらいのパーティーが一列に進んでいた。

1P目。不安定な樹林帯の不安定な姿勢で手際悪くロープをだし、先行の小形さんリードでさて出発しようとザックを肩に・・・その瞬間、スノーバーを あ〜っ・・・滑落させてしまった。さらにロープの捻りもあって最悪なスタートだった。それでも以降は順調にツルベのピッチでロープを伸ばし、尾根上部でとうとう先行のパーティーに追いつく。ここからの待ち時間が長い、長い。大山稜線の真っ白な稜線を断ち切る深い青空を背景に、大山を縦走してゆく登山者のパーティーの動きがハッキリ見える。雲がかかる様子はない。なんだかカメラのシャッターを押す。見下ろせば後続パーティーひと組が我々のひとつ下の



ピッチで待機。それにしても、待てども、待てども、先行パーティのロープがなかなか伸びない。

灌木の隙間で角の立った岩の組み合った岩場にアイゼンの爪を慎重に乗せ、ピッケルのピックを嚙らせ、こわごわ抜けると別山頂上が近いらしい。先行パーティ5名はまだ山頂にかたまっているの、その手前で確保態勢。セカンドの小形さんに続けリードの土屋さんもすぐにあがってくる。このピッチが核心らしかった。

別山山頂からの下りは高さはそれほどもないが大山特有のもろい岩屑の稜線に雪がのっかり、鞍部はナイフリッジ状態に切れて、あ～いやだなあ。怖々ながら渡りきり確保態勢

を作る。ここから先はコンテで進むのをお願いし、最終到着点の大山夏道の頂上台地へたどり着いた。

たどり着いてたくさんの登山者の上り下りには驚いた！そして頂上小屋周辺のこの台地がこんなに広いなんて・・・雪の大山登頂4回目にして初めての晴れ渡った大山山頂の姿に感動。見晴らしのよい下山だった。昼過ぎても雪はそれほど緩んでない。6合目避難小屋から先週と同じように沢を尻セードで一気にくだって元谷へ到着。スノーバーを拾いに行こうかと迷ったが、トレースのない谷を見上げて気分は萎える。ちょっと割高な大山北壁の授業料だったと思うことにしよう (T_T)

[▲目次へ](#)

自主山行

里山ロングトレイル

▶ 泉水峠～大峰山～湯来温泉

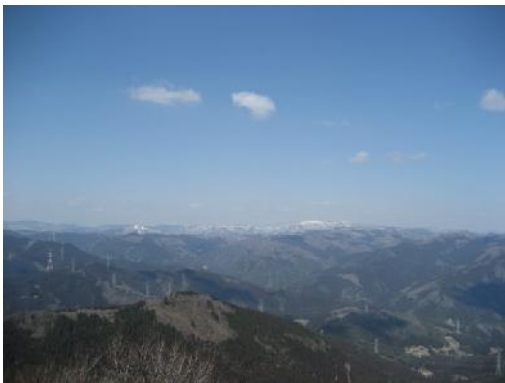
【日時】平成29年3月11日(土)

【コースタイム】廿日市市役所前駅(8:30)→川末(8:55)→泉水峠(9:30)→大峰登山口(11:00<駐車場休憩>11:10)→大峰山頂(12:00<昼食>12:30)→P815m<三等三角点 地点名: 柏木>(14:05)→湯来温泉(15:35=17:20バス)

本日は、二十四節気の一つ、啓蟄(けいちつ)の晴天の中、広島市最高峰の大峰山(標高1050m)を目指し、男二人で出発した。広電廿日市市役所駅前からバスで登山口付近まで移動すると、目の前に独立峰である「大峰山」が迫ってきた。

登山口からは杉林の中、果てしなく続く急こう配の木段、一段一段が高い！！ひたすら進み、気が付いたら高見沢さんは遙か先へと・・・そして、足が悲鳴を、(*´Д`*)





辛抱して、一段一段進むと周りは杉林から広葉樹林帯へと変わり、頂上は目前。

やっと頂上に到着。しかし、頂上からは展望は望めず、6 畳岩、8 畳岩と

呼ばれる岩場に移動。岩場からは360°の展望が開け、北には雪をかぶった十方山、吉和冠山、女鹿平などが、西には羅漢山、三倉山が、そして、南には弥山などの展望が望め気分最高(●^o^●)。

また、話によると年に数回、四国石鎚山の姿も望めるらしい。

食事休憩。高見沢さんは、私のソウルフードである「金ちゃんヌードル」を調理。

金ちゃんヌードルは昔から変わらず素朴な味でGood。未だ食していない方は、一度ご賞味あれ。

食事も終わり、目指すは湯来ロッジへと再出発。大峰山の北面には積雪があり、慎重に縄梯子を下り標高を下げた。程なくし、杉林の歩きやすい林道を進むと湯ロッジに到着。しかし、バスは10分前に出発しており次発までなんと約2時間待ち(・o・)

売店を物色すると、以前松岡さんから勧められた「子持ちこんにゃく」が※あるでないで！！

※「あるでないで」・徳島の方言で、「あるではないか！！」のこと。

早速、お土産に子持ちコンニャクをGET
おかげで、ゆっくり買い物ができたり、足湯に浸かったりと湯来温泉を満喫できた。

春の訪れを感じながらロングトレイルを満喫した一日でした。